

# 第2次甲賀市観光振興計画

## 【第1次計画の評価・検証】

平成28年9月

甲賀市観光企画推進室



# 第1次甲賀市観光振興計画の評価・検証

## ～ 本資料の構成 ～

第1次計画における3つの行動指針（以下）

1. 普段の生活の中に観光資源を見出しその魅力を高めめます
2. 観光客の受入や交流のための環境を整えます
3. 「観光資源」を「観光商品」として売り出します

及び地域別観光戦略（観光ゾーニング）に位置付ける施策の状況について示しています。

(例)

### 指針1 普段の生活の中に観光資源を見出しその魅力を高めめます

主な施策	主な実施事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
観光資源カルテの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光トイレ実態調査</li> <li>・観光看板管理台帳</li> <li>・観光資源一覧の整備</li> <li>・台帳の整備（「緊急雇用制度」）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源の把握にあたっては、トイレの実態調査や観光資源一覧等の整備が進められた</li> <li>・「緊急雇用制度」を活用して観光看板管理台帳整備</li> </ul>	完了

指針に基づく「主な施策」をあげています。

計画期間（平成22年～現在まで）において、施策に基づいて実施された主な事業をあげています。  
 (A) 観光企画推進室の実施事業  
 (B) 他課の実施事業  
 (C) その他、団体による実施事業

事業の実施にかかる成果や課題についてあげています。

委員の皆さまには「実施内容」を踏まえ、今後の方向性について判定していただきまますようお願いいたします。

※「主な実施事業」及び「実施内容」については、市内における各課ヒアリングシートに記入いただいた『事業状況』『課題』『方向性』をもとに、作成しています。

# 1 甲賀市における観光振興施策の状況

## 指針1 普段の生活の中に観光資源を見出しその魅力を高めます

主な施策	主な実施事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
観光資源カルの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光トイレ実態調査(A)</li> <li>・観光看板管理台帳(C)</li> <li>・観光資源一覧の整備(A)</li> <li>・台帳の整備(「緊急雇用制度」)</li> <li>・信楽まちなか芸術祭の開催(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源の把握にあたっては、トイレの実態調査や観光資源一覧等の整備を進めた</li> <li>・「緊急雇用制度」を活用して観光看板管理台帳を整備した</li> <li>・平成22年度から3年毎に「信楽まちなか芸術祭」が開催され、平成28年度においては第3回を開催する</li> <li>・陶器業界等の多様な立場の方から意見を吸い上げ、観光としての取りまとめ、磨き上げへの検討が課題</li> </ul>	完了
産業観光の可能性検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業対象工場見学受入調査の実施(C)</li> <li>・企業訪問ツアーの実施(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内50人以上の従業員がいる企業に対し、観光面からの工場見学の受入有無を調査(94社中、10事業者より受入可能の回答あり)</li> <li>・市内工業団地の企業訪問においても、社会見学ツアーとして可能性があることを確認した</li> <li>・市内向け工場見学会を実施(16人7家族が参加)</li> <li>・信楽焼等のものづくり企業を生かした産業ツアーについては、参加者から満足の声をいただいた</li> <li>・社会見学ツアーについては、本業に支障がないよう、どのように企画化していくか協力企業との調整が必要</li> </ul>	見直し・改善

主な施策	主な実施事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
公共交通と観光振興の連携	<p>以下の組織による観光キャンペーン等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近江鉄道沿線地域活性化協議会(C)</li> <li>・びわこ京阪奈線鉄道建設期成同盟会(C)</li> <li>・草津線複線化促進期成同盟会(C)</li> <li>・草津線利用促進プロジェクトチーム(C)</li> <li>・関西本線木津亀山間複線電化促進同盟会(C)</li> <li>・JRふれあいハイキングの実施(C)</li> <li>・JRの最寄駅での観光PR活動(京都駅など)</li> </ul> <p>・公共交通を活用したモデルコースの提案(A)</p> <p>・旅行エージェント等への信楽高原鐵道への体験乗車(プレスツアー)(B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近江鉄道沿線地域活性化協議会、びわこ京阪奈線鉄道建設期成同盟会、草津線複線化促進期成同盟会、草津線利用促進プロジェクトチーム、関西本線木津亀山間複線電化促進同盟会を組織し、観光キャンペーン等を実施した</li> <li>・公共交通と観光地の連携については、観光ルート設定等が求められるが調整ができていない状態</li> <li>・駅を降りてからの2次交通アクセスの弱さが課題</li> </ul>	継続
観光に関する市民向け講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者を活用した観光政策講座(A, B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座(地域コミュニティ推進室管轄)メニューに忍者をういた観光施策についての講座が登録</li> <li>・自主開催ではないが、平成28年度で2回の開催要請を受けている</li> <li>・回数を重ねて広く実施していくことが難しく、どのような対象や内容、頻度で開催するべきか絞り込みができていないことが課題</li> </ul>	継続
市民による観光モニター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「甲賀観光フォーラム」の開催(A)</li> <li>・甲賀観光未来会議に所属する団体の選出委員によるモニター、意見及び施策の提案(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度北海道ニセコリゾート観光協会より講師を招聘し、フォーラムを実施</li> <li>・実施できていない</li> <li>・甲賀観光未来会議に所属する各団体選出の委員には、観光の現状をモニターしていただくと同時に意見・施策の提案を行っている</li> <li>・市外、海外等のモニターが今後求められる</li> </ul>	完了  見直し・改善

主な施策	主な実施事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
学校教育との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者の日学校給食(B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育園、義務教育期間において、2月22日の「忍者の日」の給食を忍者メニューとして提供</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴生川小学校での登山授業の実施(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴生川小学校児童が毎年、飯道山への登山授業を取り入れ、山伏と接する機会、修験道の体験を行っている</li> <li>・他の小学校では上のような体験に繋がっていない</li> </ul>	継続
	以下のイベントへの参加要請 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「甲賀市観光ビジネスメッセ」(A)</li> <li>・「お宝さがし in 甲賀」(A)</li> <li>* 学校を通じて児童・生徒に案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育への参加依頼を行なった</li> </ul>	完了
農山村環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験学習(B)</li> <li>・環境学習(B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコライフ講座(自然体験学習)を年4回(平成23年度参加者230人)の規模で実施。子どもを対象とした環境学習の実施</li> <li>・年間回数(4回開催)から縮小の方向で見直しを検討</li> </ul>	見直し・改善
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生エネルギー施設エコツアー(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民対象の再生エネルギーを使用する施設へのエコツアーの開催</li> </ul>	継続
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市農村交流事業の実施(平成24年～)(B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市農村交流事業(農家を主な受け皿とした都市部の学校を中心とした教育旅行の受入)の実施</li> </ul>	完了

指針2 観光客の受け入れや交流のための環境を整えます

主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
観光協会の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧4町による甲賀市観光協会設立(C)</li> <li>・「国内旅行業務取扱管理者資格」有資格者の設置(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度に甲賀市観光協会において、「国内旅行業務取扱管理者資格」有資格者を配置</li> </ul>	継続
「(仮称)まちかど案内所」の設置	<p>以下の施設でボランティアガイド等のスタッフを配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひと・まち街道交流館(水口町)(C)</li> <li>・伝馬館(土山町)(C)</li> <li>・信楽伝統産業会館(信楽町)(B)</li> <li>・土山サーブスエリア(C)</li> <li>・甲南パーキングエリア(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水口「ひと・まち街道交流館」、土山「伝馬館」、信楽「信楽伝統産業会館」が案内所として役割を担っており、ボランティアガイド等スタッフを配置している</li> <li>・既存の忍者関連施設周辺に案内所の設置がない</li> <li>・既存の案内施設については休館日があり年間通しての活動となっていない</li> </ul>	充実
観光セミナーや研修・講習の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「甲賀観光フォーラム」の開催(A)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度北海道ニセコリゾート観光協会より講師を招聘し、フォーラムを実施</li> <li>・東海道のにぎわい再生を旨とした先進地研修の実施(奈良県高取町他)</li> </ul>	完了
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・著名人による対談(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「甲賀流忍者検定」の開催(甲賀市観光協会)。今年度の6月11～12日にかけて、2名の著名人の参加により、400名以上の参加が得られた</li> </ul>	継続
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ボランティアガイド等による研修(C)</li> <li>・先進地研修の実施(奈良県高取町他)(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ボランティアガイド等各組織における研修の実施</li> </ul>	継続

主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
観光ガイドの育成と組織化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲賀市ボランティアガイド連絡協議会の設立(C)</li> <li>・土山サービスエリアでの委託による観光ガイド(C)</li> <li>・ボランティア拠点施設の開設(C) (ひと・まち街道交流館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧5町のガイドが集まって連絡協議会を立ち上げ、土山サービスエリア内の観光案内所に交代でガイドを実施</li> <li>・メンバーの高齢化、若い世代の加入が少ない、外国語に対応できるガイドがほとんどいないなど、担い手の確保が課題</li> </ul>	充実
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップ研修会(年2回)(C)</li> <li>・ガイドマップ「白洲正子の歩いた甲賀路」の作成(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年数回の研修会の開催によるスキルアップ</li> <li>・ガイドマップ「白洲正子の歩いた甲賀路」の作成</li> </ul>	継続 完了
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語用パンフレットの作成(英語・中国語・韓国語)(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部のガイドブックで外国語化を実施</li> </ul>	継続
	まちの「顔」づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者と他の観光資源(信楽焼、東海道等)を絡めた観光PRの模索(A)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度には、國づくりプロジェクト(甲賀市総合戦略)のリレーディングプロジェクトとして位置づけられたことから、重点的に進められている</li> <li>・地域で誇りを持たれている観光資源に「忍者」を絡めたストーリー展開が課題</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「甲賀流忍者復活祭」の実施(C)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年2月「甲賀流忍者復活祭」を開催、国内外に対し、甲賀流忍者を甲賀の顔としてのPRした</li> </ul>	完了

主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
市民が観光受け入れに参画できる機会を創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「甲賀観光未来会議」の発足(C)</li> <li>・「甲賀ブランド」創出のための公募(C)</li> <li>・「東海道にぎわい再生検討委員会」の発足(C)</li> <li>・「東海道土山水口宿場会議」の発足(C)</li> <li>・「観光プロデュース会議」の発足(C)</li> <li>・「甲賀の名物づくり」のための公募(C)</li> <li>・水口岡山城と多羅尾代官陣屋敷跡の活用における市民協働提案事業(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より自立した観光施策運営を行なうため事務局機能の委譲等含めて検討する</li> <li>・より魅力ある観光資源、観光物産のPRを行なうため「甲賀ブランド」自体のあり方を検討する</li> <li>・平成25年度に発足した</li> <li>・平成26年度に発足した</li> <li>・平成25年度に発足した</li> <li>・平成25年度公募の開始</li> <li>・市民協働事業として、水口岡山城と多羅尾代官陣屋敷跡を活用した事業運営を地域住民とともに取り組んでいる</li> </ul>	<p>充実</p> <p>継続</p> <p>継続</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民の忍者観光推進への参画(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度から忍者育成事業の中で市民の方に忍者観光の一翼を担う人材として活躍してもらったための施策を推進予定</li> <li>・現時点では限定的な参画であり、参画者が固定化している</li> </ul>	<p>充実</p>
農家民宿と農業体験プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の中学校修学旅行生の受け入れ(C)</li> <li>・農家を受け皿とした教育旅行の実施(C) (農業振興課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲賀市都市農村交流推進協議会を平成24年度に発足し、同年より都市部の中学校修学旅行生の受入</li> <li>・民泊法が規制緩和の動きを見せるものの宿泊業として常態化することが禁じられており、民泊利用者が増えている</li> <li>・甲賀市都市農村交流推進協議会加入者を増やすための検討が必要</li> </ul>	<p>充実</p>



主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
「都市農村交流 受入窓口協議 会」の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「甲賀市都市農村交流推進協議会」の発足(C)</li> <li>・自然体験学習(B)</li> <li>・環境学習(B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度に発足した</li> <li>・エコライフ講座(自然体験学習)を年4回(平成23年度参加者230人)の規模で実施。子どもを対象とした環境学習の実施</li> <li>・年間回数(4回開催)から縮小の方向で見直しを検討</li> </ul>	完了  見直し・改善
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生エネルギー使用施設をベースとしたエコツアー(B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民対象の再生エネルギーを使用する施設へのエコツアーの開催</li> <li>・実施に伴うPRが市内広報誌に限られるため、参加者が延びていない</li> <li>・エコツアーリズムとして売り出せる核となる施設(国が推奨する「次世代エネルギーパーク」の認定)の検討</li> </ul>	継続

### 指針3 「観光資源」を「観光商品」として売り出します

主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
観光分野のビジネスマッチングを実施	・「甲賀市観光ビジネスマッチング」の開催(A, C)	・平成24年2月開催、平成28年度びわこビジターズビューロー主催事業にも参加	見直し・改善
	・「甲賀市観光ビジネスメッセ」の開催(A)	・平成24年に甲賀市観光ビジネスメッセを開催し、市民及び事業者向けに公開した	完了
	・プレスツアーの実施(C) (甲賀広域観光振興協議会主催)	・平成26年には甲賀広域観光振興協議会が主催となりプレスツアーを実施した ・第1回ビジネスメッセ開催以降、同様の大規模フェアは開催していない ・職員の労力を含めた費用対効果への検証が必要	完了
「甲賀ブランド」の一体的な推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「甲賀ブランド認定制度」の創設(C) 平成24年度…1商品・1風景認証</li> <li>平成25年度…4商品・9施設・1観光ルート・3催事・1記念物認証</li> <li>平成26年度…2商品・1施設認証</li> <li>・「甲賀ブランド」としてのメディア露出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度に「甲賀ブランド認定制度」を創設し、メディアや関係業者等へPR・プロモーション活動を行ってきた</li> <li>・新規申請や更新申請が伸び悩むなど、認定に対するメリットや知名度の向上等が課題</li> </ul>	充実
観光商品の造成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まっぶる滋賀甲賀」やるるぶトラベル企画でのブランドプロモーション(C)</li> <li>・魅力ある観光商品づくり(準備段階)(C)</li> <li>・観光商品のPR(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まっぶる滋賀甲賀」、るるぶトラベル企画で甲賀ブランドのプロモーションを実施</li> <li>・忍術研究会が推奨している「甲賀伊賀越え」ルート(観光ルート)等の開発準備段階への支援やPR</li> <li>・開発にあたっての担い手の育成など、今後の受け入れ体制整備が課題</li> <li>・甲賀市観光協会の事務局員1名が国内旅行業務取扱管理者を取得し、独自観光商品を作る足掛かりができた</li> </ul>	完了

主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
広域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「忍者」をキーワードにした広域連携以下の組織への参加               <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊賀甲賀観光連絡協議会(C)</li> <li>・日本忍者協議会(C)</li> <li>・南びわこ観光推進協議会(C)</li> <li>・近江歴史回廊東海支部会(C)</li> <li>・甲賀広域観光振興協議会(C)</li> <li>・びわこビジターズビューロー(C)</li> </ul> </li> <li>・日本忍者協議会への参加(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊賀市と4年間(2期2年)の人事交流の終了以降も、「忍者」をキーワードとした広域連携を実施</li> <li>・伊賀市と共同で平成26年、27年度と申請した日本遺産に、平成28年度も申請する</li> <li>・伊賀甲賀観光連絡協議会、日本忍者協議会、南びわこ観光推進協議会、近江歴史回廊東海支部会、甲賀広域連絡会に参加</li> <li>・「甲賀流忍者」としての全国の忍者との差別化</li> <li>・連携の意義や目的意識の維持が課題</li> <li>・平成27年10月には日本忍者協議会が設立され、5県5市による全国組織が発足し、民間事業者も巻き込んだ事業展開が期待されている</li> </ul>	継続
マーケティング・リサーチの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光入込客数調査の実施(年2回)(A)</li> <li>・インバウンドについての意識調査(C) (甲賀観光未来会議)</li> <li>・イベントにおけるマーケティング分析(A) (大手広告会社)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光入込客数調査以外に、独自の指標として参考にするデータがない</li> <li>・甲賀観光未来会議等の事業者が集まる機会や市民が参加するイベント実施の際に、市内事業者や市民に対して調査を実施している</li> <li>・マーケティング調査の実施にあたっては、甲賀市としては実施できていない</li> </ul>	継続  充実

主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
営業活動における販路・人脈の開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビワイチ観光ツアー（びわこビジターズビューロー企画）への参加（C）</li> <li>・各種商談会への参加、エージェント等への訪問（C）</li> <li>・県内シルバー人材センターへ甲賀市観光地情報を製本配布など訪問（A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県のびわこビジターズビューローが企画・認定する「ビワイチ観光ツアー」への参加の検討</li> <li>・甲賀市をクローズアップした企画ではないので、滞在時間等が決定できない</li> <li>・滋賀県のびわこビジターズビューローが企画する商談会へ参加</li> <li>・平成26年度には県内シルバー人材センター19施設に、甲賀市観光地情報を製本配布・PR</li> <li>・職員によるシルバー人材センターへの営業は、費用対効果が検証できず、県内のみの営業で事業中止となった</li> </ul>	見直し・改善  継続  完了
情報の共有と学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲賀観光未来会議による観光情報共有、施策協議・決定（C）</li> <li>・事務局長レベルでの観光担当者会議の月例実施（C）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年から甲賀観光未来会議が発足し、観光関連団体から担当者が委員として出席し、観光に関する情報共有・施策の協議・決定を行っている</li> <li>・平成27年から、市、甲賀市・信楽観光協会及び商工会の事務局長レベルでの観光担当者会議を毎月実施し、情報交換に励んでいる</li> <li>・共有した情報を活かした事業実施や、そのための学習機会・講習会などは持っていない</li> </ul>	見直し・改善
効果的なメディア戦略の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロケーションオフィスを通じてロケ地の招聘（A、C）</li> <li>・雑誌への掲載</li> <li>・プレスツアーの実施</li> <li>・忍者を活用した甲賀市のPR</li> <li>・忍者観光戦略事業におけるメディア露出（大手広告代理店と協働）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度から実施している忍者観光戦略事業内において、マスメディアを中心とした露出に成功し、その手法を職員が学習、広報・PRキャンペーン活動に活かしている</li> <li>・全市的に「忍者」と資源を結びつけるストーリー性のある情報発信が課題</li> </ul>	継続

地域別観光戦略（観光ゾーンニング）

種類	主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
甲賀流忍者	“忍者の里”の雰囲気醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「忍者」の飛び出し注意看板の設置（甲南町自治振興会）(C)</li> <li>・「甲賀流忍者調査団（ニンジャファインダーズ）」の結成(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の他、平成28年度甲賀町大原自治振興会で設置を検討</li> <li>・「甲賀流忍者調査団（ニンジャファインダーズ）」の結成</li> <li>・今後の展開について、メディア等多方面から注目されていることに対して、どのように発信していくか検討が必要</li> </ul>	充実
	観光戦略及び受け入れ体制の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行エージェントを「忍術屋敷」「忍術村」に招聘(A)</li> <li>・インバウンド受入アンケートの実施(A)</li> <li>・甲賀流忍者を軸とした市のPR(A)</li> <li>・忍者を入口に観光客を市内各地に誘客する(A)</li> <li>・観光トイレの整備(A)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者が忍者を活用する状況に十分に至っておらず、観光客の忍者のまちとしての満足度が得られにくい状況</li> </ul>	充実
	忍者検定の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者検定の開催(第9回)(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け皿整備として観光トイレの整備に着手</li> <li>・平成26年度に作成した観光トイレの現況をもとにトイレ整備を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度では第9回忍者検定を開催し、検定には初級111名、中級30名、上級7名、計148名の参加があった</li> <li>・検定には早稲田大学の資格ゲッターズ37名（平成28年度実績）の参加があり、コアなファンの定着が図れている</li> <li>・忍者検定受験者のみの参加となっており、一般客の入込が限定的である</li> </ul>

種類	主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
甲賀流忍者	伊賀市との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の人事交流(A)</li> <li>・定例の担当者会議(A)</li> <li>・共同PRイベント(A)</li> <li>・「伊賀甲賀観光連絡協議会」の設置(A, C)</li> <li>・日本遺産認定への取り組み(A)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年から平成26年までの4年間(2期4名)の職員の人事交流を実施した</li> <li>・平成27年からは、引き続き情報交換の定例担当者会議や共同PRイベントを実施している</li> <li>・日本忍者協議会との事業のすみ分けが課題</li> <li>・平成26年度より日本遺産の認定を目指している</li> </ul>	完了
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「信楽まちなか芸術祭」の開催(C)</li> <li>・市内誘導用パンフレットの作成(C) (割引優待券等の得点)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年から3年毎に「信楽まちなか芸術祭」が開催され、平成28年度においては第3回の開催となる</li> <li>・陶器業界内の多様な立場からの意見について、観光としての取りまとめ、磨き上げへの検討が課題</li> </ul>	継続
信楽(紫香楽)	信楽陶芸トリエンナーレをきっかけとした観光誘客の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「紫香楽宮都あかり」をトリエンナーレタイアップ事業として実施(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外へのPR展開も含めて検討が必要</li> <li>・未来会議基盤整備委員会で、タイアップ事業として「紫香楽宮都あかり」を実施。また、長野商店街において誘客の拠点スポットの設置を予定</li> </ul>	継続
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野商店街において誘客の拠点スポットを設置(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のとおり</li> </ul>	

種類	主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
信楽（紫香楽）	信楽高原鐵道との連携による観光旅客誘致	以下の組織による観光キャンペーン等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・びわこ京阪奈線鐵道建設期成同盟会（C）</li> <li>・関西本線木津亀山間複線電化促進同盟会（C）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・びわこ京阪奈線鐵道建設期成同盟会、関西本線木津亀山間複線電化促進同盟会を組織し、観光キャンペーン等を実施</li> <li>・鐵道と観光地との連携については、観光ルートの設置等が必要</li> </ul>	継続
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・信楽高原鐵道を利用した観光ルート開発（A, C）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山上区から庚申口に新駅の要望があり、これによる三靈山の一角である庚申山への登山等観光への効果が期待される</li> <li>・新駅の費用対効果について検証が必要</li> </ul>	充実
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントコラボ列車の実施（C）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信楽町觀光協会がコラボした七夕列車、サンタ列車イベントコラボ列車が実施されている</li> </ul>	継続
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸の森「リサラーソン展」の実施（C）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年上半年に実施した陶芸の森「リサラーソン展」とのコラボ企画は好評で、展示期間中の陶芸の森の入込客は大きく伸びた</li> </ul>	完了

種類	主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
東 海 道 の 宿 場	回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポランティア拠点施設の開館(C) (ひと・まち・街道交流館)</li> <li>東海道ウォークイベントの開催(C)</li> <li>甲賀三大沸のルート化(A) (大池寺・榛野寺・十楽寺)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水口宿に「甲賀市ひと・まち・街道交流館」が平成25年4月にオープンし、土山宿の「東海道伝馬館」と合せて両宿場に拠点がそろった</li> <li>これにより、ツアーの発着が両宿場で可能になるなど、回遊性は向上し、週末祝日には多くのウォーキング客の姿をみかける</li> <li>地域において観光地としての小商い拡充やサービス展開、空き家利用など合意形成が図られていない</li> <li>平成26年度より水口青年会議所主催の東海道ウォークイベントを開催</li> <li>集客力の高い施設を結ぶ観光ルートの設定やスタンプラリー等のプログラムの実施に至っていない</li> </ul>	継続
	空き店舗活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家バンク施策の実施(B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度より実施している空き家バンク制度は、現状東海道の中でのエントリーがない</li> <li>貸す側が、空き家や空き店舗を他人に貸すことに対する不信感を払しょくできていない</li> <li>空き家バンク制度の広報やモデルケースをつくり、活用に向けた雰囲気づくり・積極的なPRが必要</li> </ul>	充実



種類	主な施策	主な事業	実施内容（成果・課題）	今後の方向性
	土山宿と水口宿の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア拠点施設の開館(C) (ひと・まち街道交流館)</li> <li>・「東海道にぎわい再生検討委員会」の発足による両宿場の再生のための協議・実践(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度に開館した</li> <li>・平成27年度には、東海道にぎわい再生検討委員会から東海道土山水口宿場会議が立ち上がった</li> </ul>	継続
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東海道土山水口宿場会議」の発足(C)</li> <li>・東海道土山水口宿場会議の開催(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海道土山水口宿場会議を開催</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域が連携したマップの作成(C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度には、各地域が連携したマップ作りを行う</li> </ul>	

## 2 観光振興施策における課題

### 其之一 ～ 観光産業としての発展 ～

観光誘客を推進していくためには、観光客から来訪先として選択されるだけのイメージ力、ブランド力が重要となります。しかし、甲賀市においては、力のあるコンテンツがある一方、観光まちづくりとしての一体化が図れておらず、観光地として選択した場合、宿泊施設、食事、観光物産の販売、それらをつなぐルートなど、観光産業として確立されていないことが課題となっており、観光入込客数についても、ほぼ横ばいで推移している状況です。今後、甲賀市において、観光を産業として確立させしていくためには、「地域主体形成」、「地域産業を活かしていく取組み」、「観光地での関係者との協働」、「地域住民の支援態勢と共感形成」のそれぞれが観光まちづくりを発展させる態勢づくりとして特に重要であると認識する必要があります。

甲賀市では、第1次甲賀市観光振興計画において、「忍者」、「東海道」、「信楽焼」の3資源のそれぞれの特徴を生かした取り組みを位置づけ、推進してきましたが、その中でも特に国内外から認知度の高い「忍者」を活用した取り組みへの移行は、多くの集客、注目を集める存在になります。そのため、今後は市全体における観光資源の活用を効果的に図っていくためにも、「甲賀流忍者」を核とした観光まちづくりに取り組む必要があります。

さらに、既の実施している「甲賀ブランド」を有効に活用していくためにも、コンセプトの再整理や、戦略的なPR・プロモーションの展開を図り、「甲賀ブランド」の磨き上げを行っていくことが求められます。

## 其之二 ～ 市内の観光おもてなし体制の確立 ～

来訪者の満足度を高め、再訪や長期滞在につなげるためには、来訪者が来訪地に期待する価値や体験を得ることができ、心から満足してもらえらる受け入れ体制が重要です。特に、観光地や施設、地域等の人々からのおもてなしは、来訪者の印象に大きな影響を与えます。

甲賀市においては、2次交通の利便性や観光地をつなぐ観光ルートの設定、観光ボランティアスタッフの登録状況等、顧客目線にたった場合、観光地としての整備状況の遅れは否定できません。また、市民目線にたった場合にも「甲賀市は観光地である。」といった意識も高くないことが現状です。よって、市民が地域の観光資源の価値や魅力を再認識できる取り組みを通じて、地域や資源に対する誇りの醸成を図っていくことが必要です。そのためには、市民との観光まちづくりに関する「地域主体形成」の場づくりや、市民が主体的に観光事業の企画・立案等に参画できるしくみづくり等が重要となります。

また、市民だけではなく、その他の観光従事者（観光協会、商工会、店舗等）が連携を図り、顧客目線に立ったサービス・商品を企画、提供していくことが求められています。

さらに、観光ボランティアガイド等の担い手の確保やインバウンドを見据えた人材育成等、観光を支えるボランティアの養成・確保が求められます。

### 其之三 ～ 観光資源の有効活用に向けたしくみづくり ～

甲賀市においては、「忍者」、「東海道」、「信楽焼」の3資源をはじめとして、様々な観光資源を有しており、観光客の意見を取り入れながら共につくりあげていく必要があります。特にこれらの資源を活用した感動的な体験、学び、交流の場を創出していくことが重要です。

今後、観光資源を効果的に活用していくためには、「誰に、何を、どのように伝えるか」といったマーケティング戦略の視点が求められます。そして、甲賀市民に対しても観光の役割を認識していただくためには、甲賀市における観光入込客数以外にも、その消費額や受け入れることへの満足度、再訪意向等を把握する調査が必要であり、それらに基づくターゲットの設定、商品開発、PR手法が重要となります。さらに、事業の成果について評価・検証を行い、次につなげていくことが求められます。

特に国外からも認知度が高い「忍者」や「信楽焼」等の資源に関しては、インバウンドを視野に入れたマーケティング戦略が求められます。

### 其之四 ～ 観光振興の推進にかかる体制づくり ～

「其之一」～「其之三」の課題を解決していくためにも、観光動向に関する調査結果等の情報を観光に関わる全ての組織が共有・活用できる体制や、観光に携わる様々な立場や意見をとりまとめ、観光魅力の向上につなげるためのしくみが求められています。

今後の観光振興を考えるにあたっては、観光地域づくりを支える持続可能な体制が必要であり、観光振興に関する専門的な人材を有し、市の観光実態におけるマーケティング調査・分析を行い、戦略の立案、またその中・長期的視点に立った実践に向けたマネジメントを担う組織の在り方について検討を進めていくことが重要となります。